

バイ・るもい運動「お買い物は地元で」

かいぎしよ News

CONTENTS

- 年頭所感
- 役議員年賀

迎春



左から 参与：間端留萌海上保安部長 参与：平山第26普通科連隊長 大石会頭
参与：中西留萌市長 参与：上原留萌振興局長 参与：柿沼留萌開発建設部長

2026

新年号

令和8年元旦

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

年頭所感

「未来を拓く街の創造と
地域経済の発展へ向けて」

留萌商工会議所 会頭 大石 昌 明



新年あけましておめでとうございます。

令和八年の輝かしい新春を迎えるにあたり、謹んでお慶び申し上げます。

会員事業所の皆様におかれましては、日頃から留萌商工会議所の事業活動に多大なるご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、依然として続く国際情勢に起因する原材料や資源価格の高騰、深刻な人手不足など、我々中小・小規模事業者を取り巻く厳しい経営環境が続きました。それに加え、昨

年は、本道で初めて観測された「線状降水帯」による豪雨災害や、気候変動の影響が顕著となった「秋鮭の記録的な不漁」、さらには「熊による人的被害の拡大」など、我々の安全な生活基盤と経済活動そのものを脅かす、経験したことのない自然の猛威に直面した一年でありました。

こうした厳しい環境の中、当所におきましては、昨年十一月に議

員改選が行われ、会員皆様の力強いご信託を賜り、新体制がスタートいたしました。改めて、この地域の経済を牽引すべき責務の重さを痛感している次第であります。

本年、令和八年の干支は「丙午（ひのえうま）」であります。「燃え盛る太陽」と「力強い行動力」を象徴し、六十年に一度巡ってくる、非常に情熱と飛躍の力に満ちた年とされています。まさに、新体制でスタートを切った我々が、情熱を持って留萌の経済再生に邁進するにふさわしい年であります。

新体制のもと、当所は「地域と企業の稼ぐ力の強化」を最大の使命とし、以下の施策を重点的に推進して参ります。

第一に、事業者の皆様が直面する喫緊の課題に対し、「中小企業伴走支援」を一層強化し、経営の安定と革新を全力で支えて参ります。

第二に、「道の駅」を中核とした「関係交流人口の拡大」です。地域の魅力を磨き上げ、外からの新たな活力を取り込む流れを加速させます。

第三に、「特定利用港湾」としての留萌港の利活用を最大化させるとともに、洋上風力発電をはじめとする「再生可能エネルギー」による経済効果の検証を進め、これ

を新たな産業の柱として確立すべ

く研究を深めます。

そして、留萌市が計画する「新交流複合施設」に対して、経済界の視点から積極的な提言を行うとともに、この変革期において「商工会議所が担うべき真の役割」について深く検討し、行動して参ります。

私共、商工会議所の使命は、地元企業を守り育て、雇用を支え、輝かしい未来を次世代へ引き継ぐことでもあります。地域の総合経済

年頭所感

道の駅を核とした「新たな賑わい」と
「経済循環」の創出へ

留萌市長 中西 俊 司



新年あけましておめでとうございます。

令和八年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

留萌商工会議所の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、平素より市政運営に対し多大なるご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。地域経済の牽引役として、また地域社会の要としてご尽力いただいている皆

団体として、留萌市や関係団体との連携を一層深め、この転換期を乗り越えるために全力を尽くす所存です。会員皆様のなお一層のご支援ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとつて情熱と飛躍に満ちた、実り多い素晴らしい一年となりますようお祈り申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

様に、改めて深く敬意を表する次第です。

さて、我が国の経済に目を向けますと、長らく続いた物価高騰の影響や慢性的な人手不足といった課題は依然として残るものの、デジタル技術の社会実装やグリーントランスフォーメーション（GX）の進展により、新たな成長軌道を描こうとする動きが活発化しており、企業収益や賃上げの動きにも改善の兆しが見られ、経済の好循環に向けた確かな歩みが進められています。

また、道内におきましても、インバウンド需要の回復とともに観光産業が活況を取り戻しつつあります。食や自然といった本道の強みを活かした高付加価値化への取り組みが各地で加速しており、地

域の魅力を世界へ発信する好機が到来しています。しかしながら、人口減少に伴う地域市場の縮小は避けられない課題であり、私たち地方自治体には、交流人口の拡大と外貨の獲得に向けた、より戦略的な施策が求められています。

こうした情勢の中、本年の留萌市は、これまでの取り組みが大きく花開く、まさに「飛躍の年」となります。本市が目指す「道の駅を中心とした賑わいの創出」が、いよいよ具体的な形となつて皆様の前に姿を現します。

まず、本年夏頃には、道の駅るもいに待望の「アウトドア・アクティビティ拠点施設」が完成いたします。

この新施設は、地域の魅力を案内する「ビクターセンター」、アウトドア関連商品の展示・販売施設、「物販・飲食施設」の三つの機能で構成されます。既存の施設と、この新たな拠点が一体となることで、これまで以上の大きな賑わいを生み出す効果を期待しています。

ここを訪れる多くの人々に留萌のアウトドアライフを提案し、市内周遊へと誘う「観光の拠点」としての役割を果たしてまいります。また、「海」からの玄関口も活気づきます。六月と七月には、留萌港に大型客船「飛鳥Ⅱ」に加え、新たに就航した「飛鳥Ⅲ」の寄港が決定しております。

日本を代表する豪華客船の連続寄港は、全国から訪れるお客様に留萌の食や景観を堪能していただ

く絶好の機会です。市民の皆様と共に温かいおもてなしの心でお迎えし、留萌のファンを増やしてまいりたいと存じます。

そして秋には、「第十四回 全国『道の駅』シンポジウム」が、この留萌の地で開催されます。

全国各地から道の駅関係者や有識者が集うこの機会に合わせ、「道の駅まつり」も同時開催される予定です。全国規模のイベントを通じて、成長する「道の駅」の姿を広く発信することは、本市の知名度向上のみならず、飲食・宿泊・交通など、市内経済界全体に大きな経済波及効果をもたらすものと確信しております。

本年は、これらの拠点整備や大型イベントを起爆剤とし、人が集

い、モノが動き、経済が回る仕組みをより強固なものにしてまいります。

行政がハードや機会を用意するだけでは、真の地域活性化は成し得ません。商工会議所会員の皆様の知恵と行動力、そしてビジネスの現場での活力が合わさって初めて、これらのチャンスが「地域の豊かさ」へと結実します。どうか皆様には、本年も市政運営に對し、変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、留萌商工会議所の益々のご発展と、会員企業の皆様の更なるご隆盛、そしてご健勝を心より祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

年頭所感

「変革と価値共創による」

日本経済の再出発

日本商工会議所 会頭 小林 健



明けましておめでとうございます。

二〇二六年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

【成長の果実を賃金や投資へ】

さて、昨年の世界情勢は、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や中東情勢の緊迫化といった地政学リスクに加え、関税・輸出管理・産業補助・投資審査などが複合的に作用し、通商環境の再編が進行するなど、不確実性が一段と高まった一年でありました。

国内に目を向けますと、日本経済は賃金と物価の好循環に向けた兆しが明確になりつつありますが、依然として物価上昇に賃金が追いつかず、実質賃金の着実な回復が最大の課題です。長年にわたり染み付いたデフレマインドを払拭し、成長の果実を賃金や投資へ確実に循環させることこそ、日本経済の「再出発」に向けた最大の鍵であります。

こうした中、国政においては、憲政史上初の女性総理として高市総理が誕生し、就任直後からトランプ米大統領をはじめ各国首脳との会談を精力的に行い、首脳間の信頼醸成に努めてくれました。また、高市総理が議長を務める「日本成長戦略会議」におきましても、AI・半導体、造船、量子など17の戦略分野への投資に加え、人的資本の強化、労働市場改革、スタートアップ支援、賃上げ環境整備など、将来の成長力を高める政策課題が明確に示されました。

国の成長戦略と歩調を合わせつつ、民間の現場から具体的な提言と実行を積み重ねていくことが、私どもの責務であります。

【成長型経済への転換を確固たるものに「変革」と「価値共創」】

わが国の経済は、成長型経済への移行に向けた正念場を迎えています。しかし、企業数の99.7%、雇用の約七割（三大都市圏を除くと約九割）を占める中小企業は、円安・原油高に伴う原材料・エネルギー価格などの高騰、人手不足や労務費の増加、さらには消費低迷など多くの課題に直面しています。

成長型経済への転換を確固たる

ものとするためには、個々の企業が自己変革を果たし、変化する外部環境に適応していくなど、絶えず「変革」に挑み続ける姿勢が重要です。同時に、不確実性の時代においては、多様な主体が互いの強みを持ち寄り、新たな価値を共に創り、共に分かち合う「価値共創」の発想こそが、これからの日本経済を支える基盤になると確信しています。

【「変革と価値共創による日本経済の再出発に向けた三つの重点課題」】

こうした考えから、私は今期のスローガンとして「変革と価値共創による日本経済の再出発」を掲げました。このスローガンの下、以下の三点を重点課題として当所の運営に取り組んでまいります。

一点目は「成長型経済の実現に向けた環境整備」です。成長型経済を実現するには、コストプッシュ型インフレから、需要拡大によるデマンドプル型インフレへと転換し、賃金と投資の好循環を持続させる必要があります。そのために、適切な価格転嫁と取引適正化の推進は、賃上げ原資を確保する観点から官民を挙げて一層強化すべき課題です。加えて、経済安全保障とエネルギー安全保障の両立、過度な円安の是正に向けた金融政策、人手不足への対応、持続可能な全世代型社会保障制度の構築につきましても、引き続き要望してまいります。

二点目は「変革と価値共創による中小企業・小規模事業者の『稼

ぐ力』の強化」です。成長型経済の実現には、中小企業・小規模事業者の付加価値と生産性の向上が不可欠であり、新分野進出、DX・GXの推進、知的財産の創造・保護・活用、海外展開、スタートアップとの連携などへの挑戦が求められます。また、事業承継を契機として、より強く魅力ある企業へと生まれ変わることが重要です。三点目は「地域の稼ぐ力の向上による地域経済循環の推進」です。持続可能な観光地域づくり、地域に新たな投資を呼び込むためのインフラ整備や財政支援、地域の産業を担う人材の確保・育成支援が求められます。いずれも商工会議所の主要な活動テーマであり、当所はもとより、各地商工会議所が中核となって取り組まれることを心より期待いたします。

【「現場主義・双方向主義」の発展】

私は「原点は対話である」という信念の下、会頭就任以来、全国各地を訪問し、地域や事業者の生の声を伺い、各地域が抱える課題の把握に努めてまいりました。今後は「現場主義・双方向主義」をさらに発展させ、現場の声に真摯に向き合いながら、中小企業と地域の活性化、日本経済のさらなる成長に向けて、皆さまと共に全力を尽くしてまいります。皆さまの多大なるご支援、ご協力をお願い申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。

謹賀新年

新春を迎え皆様のご健康とご多幸を
心よりお祈り申し上げます。
本年もどうぞよろしくお願い致します。

令和八年元旦



留萌商工会議所

会 頭

㈱錦堂
代表取締役

大石 昌明

名誉顧問

原 田 丈 三

副 会 頭

三協建設㈱
代表取締役

堀 松 秀 樹

名誉顧問

對 馬 健 一

副 会 頭

㈱イバヤシ
代表取締役

串 橋 伸 幸

名誉顧問

塚 本 壽 三 郎

副 会 頭

㈱東光自動車整備工場
代表取締役

西 野 秀 保

専務理事

橋 本 る み 子

常 議 員

㈱ハタナ力昭和
代表取締役社長

畑 中 修 平

常 議 員

㈱中央スーパ
取締役会長

辻 本 哲 也

常 議 員

澤井商事㈱
代表取締役社長

澤 井 篤 司

常 議 員

白鷗印刷㈱
代表取締役社長

鈴 木 康 伸

常 議 員

山高建設工業㈱
代表取締役社長

佐 藤 太 紀

常 議 員

興北建設㈱
代表取締役社長

原 田 欣 典

常 議 員

㈱堀口組
代表取締役

堀 口 哲 志

常 議 員

㈱高橋建設
代表取締役

高 橋 秀 一

常 議 員

㈱留萌福祉サービス
取締役部長

菊 池 美 佐 子

常 議 員

井原水産㈱
参事

橋 本 雄 二

常 議 員

㈱不二水道
代表取締役

柳 澤 豊

常 議 員

㈱島山電気工業
代表取締役

畠 山 博

常 議 員

㈱フタバ製麵
代表取締役

仲 田 隆 彦

常 議 員

ハラタ工業㈱
代表取締役

藤 野 徹 弥

常 議 員

㈱ビジネスPLUS
代表取締役

昆 多 利

常 議 員

㈱松建設工業㈱
代表取締役社長

堀 松 和 彦

常 議 員

留萌信用金庫
理事長

中 村 康 存

常 議 員

真田運輸㈱
代表取締役

住 吉 勉

常 議 員

白鳥建設工業㈱
代表取締役社長

堀 松 誠

常 議 員

留萌港開発㈱
代表取締役

梅 田 繁 樹

監 事

㈱中野保険事務所
専務執行役員

中 野 了

監 事

㈱北洋銀行留萌支店
支店長

村 上 直 希

監 事

㈱メディアカルサポート群来
代表取締役

小 路 泰 孝

議 員

㈱北海道銀行留萌支店
支店長

明 星 琢 磨

議 員 医療法人社団 心優会 理事長 三輪英則	議 員 （有）タニ薬局 代表取締役 谷泰次	議 員 フルノ電気工業株 代表取締役 古野晃洋	議 員 （株）田中青果 代表取締役 田中欽也	議 員 モリモト家具店 代表 森本隆志	議 員 貝森工業株 代表取締役 貝森将之	議 員 北海道電力ネットワーク（株） 留萌ネットワークセンター所長 佐藤豊
議 員 （株）産業廃棄物処理センター 代表取締役 石塚辰介	議 員 出澤水産（株） 代表取締役社長 出澤太幹	議 員 （株）千成家 代表取締役社長 長内敬憲	議 員 （株）北交産業 代表取締役社長 沖田謙司	議 員 （株）笠井商店 代表取締役 笠井裕司	議 員 （株）光和自動車整備工場 代表取締役 宮下泰裕	議 員 （株）和秀 代表取締役会長 居原田隆夫
議 員 （株）食産 代表取締役 関野紘史	議 員 土地家屋調査士 山田篤事務所 代表 山田篤	議 員 （有）はけんプラザるもい 代表取締役 武田佳彦	議 員 （有）日東商事 取締役 森義和	議 員 （株）ネオリサイクル 代表取締役 小川岳洋	議 員 （株）佐藤電気商会 代表取締役 桜元克則	議 員 （株）ハチ口 代表取締役社長 田仲淳一
議 員 （株）北建舗道 代表取締役 堀松洋	議 員 （有）衛生公社 代表取締役 平澤文彦	議 員 （有）山下商店 代表取締役 松村剛	議 員 （株）留萌リース 代表取締役 照井満	議 員 （株）加藤水産 代表取締役 加藤貴章	議 員 三協石油（株） 代表取締役社長 花坂孝	議 員 （株）ファミリーケアサポート 代表取締役 田中卓
議 員 （有）北海道新聞東原販売所 代表取締役 東原義幸	喪中につき、 年始のご挨拶 と速慮申し上げます		留萌商工会議所青年部 会 長前田康太 筆頭副会長 菅保堂 副会長 長石田純一 副会長 堀松大志 専務理事 片岡広貴 他会員一同		議 員 戸屋興産（株） 代表取締役 高橋佑介	議 員 （株）留萌新聞社 常務取締役・編集部長 原田学

本年も宜しくお願い申し上げます

令和8年 元旦

事務局 職員一同

1／8（木）・2／12（木）

「一日公庫」金融・事業承継・創業相談会開催！！

※初めての方もお気軽に当所へお申し出下さい。



本年も駅前商店街をよろしくお願いします。 留萌駅前大通商店街振興組合

理事長 江口 元 副理事長 田中 欽也 副理事長 笠井 裕司
 専務理事 高梨 浩志 専務理事 鉢呂 良一 会計 中村 三貴子
 監事 笹森 則夫 監事 伊藤 伸一



留萌神社下商店街振興組合

理事長 辻本 哲也 副理事長 森 俊二 副理事長 高田 英雄
 専務理事 室本 直俊 会計理事 寺西 政人 理事 渡邊 裕久
 理事 森本 隆志 理事 森 義和 監事 塚本 隆史
 監事 鶴沼 司

「高齢化社会に対応した商店街づくりをめざす」



留萌三番街商店街振興組合

理事長 関口 秀二 副理事長 佐伯 千恵子 専務理事 土田 悦也
 理事 伊藤 則子 理事 横内 明美 理事 石黒 真喜子
 監事 松村 孝二

おいでよ ^{いろ}彩どり発進タウン 三番街商店街

事務局 留萌市錦町3丁目 TEL 43-2654



留萌中央商店街振興組合

理事長 佐々木 道裕 副理事長 東 一雄 専務理事 奥 俊信
 理事 中出 敏彦 理事 酒井 幸彦 理事 横田 美樹
 監事 門脇 敬 監事 阿部 真紀子

お手伝いする街、みんなの“中心街”

今年もよろしくお願い申し上げます。

迎春

◆備えは万全ですか？ 総合火災共済に加入して安心な毎日を！
 ◆みなさまに寄り添う、『安心・安全』をお届けする身近な共済を目指しております
 火災、落雷、破裂・爆発、風災・ひょう災・雪災、物体の落下・飛来・衝突、水ぬれ、騒じょう、盗難、水災

お申し込み・お問い合わせは 留萌商工会議所へ Tel 42-2058



北海道火災共済協同組合

理事長 小林 一清

Tel 011-231-1322 <https://www.lilac.co.jp/kasaikyosai/>